

「ルミッキ」シリーズ3部作 完結記念!

北欧女子作家サラ × 漫画家オーサがおくる

ミステリアス・レッドパーティー

潜入
ルポ

主催: 西村書店 www.nishimurashoten.co.jp *FB、ツイッターでも発信中!

協力: クリーク・アンド・リバー社 後援: フィンランド大使館



私がサラ・シムッカよ! フィンランドから来ました



←黒の「シムッカ・ウオッカ」と、白の「オーサ・カクテル」を手に。真っ赤な「ルミッキカクテル」も美味でした!

▲「ミステリアス」を、コンバットのカチューシャで表現♪



“北欧女子つながり”で実現した、漫画家オーサさんとのコラボイベント「ミステリアス・レッドパーティー」が、昨年12月9日、渋谷のクラブUnderbarで開催されました。

ふたりのキャラクターやフィンランドとスウェーデンのお国柄、作品紹介、互いへのミニインタビューにサイン会にと、盛りだくさんの内容でした。

当日のドレスコードは、ルミッキ1巻「血のように赤く」にちなんで「赤」。照明まで赤にするというこだわりで盛り上がりましたが、ふと冷静になってみれば、お客様とスタッフみなさん渾然一体となって、どこが赤いのかわからない状態に。

サラさんのソウル・アニマルはフクロウだそうで、グッズ集めに凝っているとのことでしたが、そんな彼女におすすめの日本の観光地として、オーサさんがあげたのは「ウサギカフェ」。さすがフツの日本人とは見所が違います。

ふたりの共通点は、作品の主人公の女子が強くて、どこか陰があって、でも一生懸命なところ。そして、漫画家の高橋留美子さんが好き!ということでした。

ファン同士も交流し、ディープな夜を楽しみました。

不思議なレッドパーティー



サラ・シムッカ◆1981年生まれ。作家、翻訳家。2013年、フィンランドで最も歴史ある児童文学賞トペリウス賞を受賞。「ルミッキ」3部作(西村書店)で日本デビュー。おもにヤングアダルト向けの作品を執筆し、スウェーデン語の文学を精力的にフィンランド語に翻訳。フィンランドのタンペレ市に在住。



「ルミッキ」シリーズ3部作 1巻 血のように赤く / 2巻 雪のように白く / 3巻 黒檀のように黒く 各本体1200円(西村書店)



▲おしゃれなサラの手首には赤と黒のリストバンドが。赤い靴は友人から譲られたものだそうです

オーサ・イエクストロム◆1983年生まれ、スウェーデン出身の漫画家。2015年に『北欧女子オーサが見つけた日本の不思議』で日本デビューした後、『さよならセプテンバー』(クリーク・アンド・リバー社)全3巻を上梓し、2015年ガイマン賞第1位に輝く。



『さよならセプテンバー』1~3巻 各本体590円(クリーク・アンド・リバー社)